



No.42

大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyō
Elementary School

HP:<http://www.taisyō.obihirō.ed.jp>

平成29年9月29日

9月も末になり、校庭の木々も秋の装いへその姿を変えつつあります。今週は、石窯ピザ教室や体験的な活動が目白押しとなり、子どもたちの様子も生き生きとしていました。

さて、今号では、学校の取組や子どもたちの様子を中心にお伝えしていきます。

9月26日(火) ふるさとと人との絆を育む取組を通して VOL1 ～大地の恵みに感謝して～

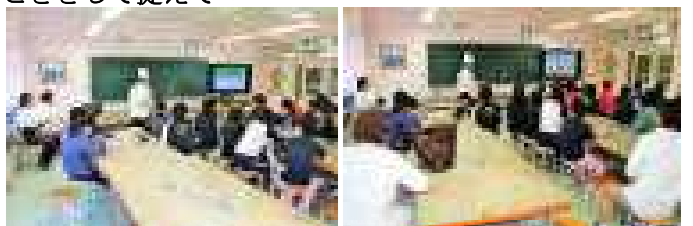
9月26日(火)、満寿屋商店社長の杉山雅則様をはじめ、音更店店長の大崎様、同店従業員の末山様の3名の講師の皆様を迎え、「石窯ピザ教室」を6年生で実施しました。杉山社長様は東京にも支店を広げてしますのでたいへんお忙しい中、お越しいただいております。誠にありがとうございます。これは、農園活動で収穫した野菜(今回は、じゃがまる農園や教材園で収穫したメークイン・スイートコーン・ミニトマト・枝豆)をふんだんに使い、オリジナルピザづくりに挑戦しました。生地づくりからトッピングまで終始笑顔の絶えない和やかな雰囲気を取り組んでいました。焼きたてのピザを頬張る子どもたちの様子が印象的でした。その様子を写真で紹介します。



まずは、生地づくりで小麦の弾力性には驚きました。思い思いに具材をふんだんに使ってトッピング。そして、石窯に投入。いよいよ焼き上がりの瞬間を迎えます。美味しくふんわりと焼けました。感謝を込めて、いただきます。



杉山社長様からは、「おいしい十勝にありがとう!!」と題した講話をいただきました。ふるさと帯広十勝の魅力を通して、食育や『働くこと』などキャリア的な内容についてもふれていただきました。特に、夢を持つことの大切さとして、『自分はこうなりたい』という思いを絵に描いて、いつでも見える場所に貼ると願いが叶うことが多いなど、具体的なお話をたくさんいただきました。杉山社長様に、私の方から、「社長様のお話から刺激を受けて、夢を描いて新しい仕事に挑戦したり、将来、新しい仕事を起業したいとする子どもも出てくると思います。」「十勝の農産物や食品もだんだん知られるようになりまし、観光資源や発電やエネルギー資源なども国内外に認知されるようになってきているので夢の実現のためには多くの素材があります。」など、校長室でお礼と抱負などをお話ししますと、たいへん喜んでいらっしゃいました。私も、自己実現という意味で、「勝負の必勝」や「受験・合格」などを文字にしたり作文にしたり絵にしたりなどの「予言の自己成就」とか(今風では夢を実現する「宝地図」とか)で、夢を書くこと描くことが極めて重要だと思います。いずれにしても、子どもたちは、帯広十勝の魅力や当たり前のこととして捉えていたことが、すごいことであることなど、ふるさとを再発見できた様子でした。写真は、「石窯ピザ(食育)教室」の様子と杉山社長様からの「とかちっ子」への熱い応援メッセージが込められたプレゼンテーションのスライドの一部です。子どもたちの伸び伸びとした姿が際立ちました。今後も食育にかかわる取組は続きます。「ふるさと大正」「将来の自分・夢」を五感で感じてくれることを願っています。



～ 食を通して「ふるさと大正」「将来の自分・夢」を見つめ直すことができました ～

9月28日(木) 小中連携「私たちの目指す姿がそこにはありました」～七中生から学んだもの～



帯広第七中学校の文化祭総練習の合唱練習に、大正小学校3～6年生、愛国小学校5・6年生が参加しました。体育館に入ると調和のあるさわやかな響く歌声が耳に入りました。懐かしい卒業生の堂々とした姿もあり、嬉しくなりました。凛とした姿勢、表現力豊かな歌声など、各学年ごとに発声練習をしていたところでした。

*今回も七中の文化祭総練習を鑑賞する形で実施することができました。今年で、5回目となる帯広第七中学校での合唱鑑賞。七中エリアファミリー構想とあわせ、義務教育9カ年を見通した取組が進められています。



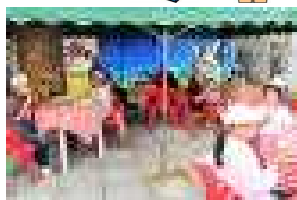
本取組は、本校を卒業した子どもたちの成長・変容ぶりを目にするのできる良き機会となっています。今後、学習発表会にむけて動き出す本校にとって、子どもたちは、学習発表会にむけての意識づけや自分の思いを歌詞に込めて表現することの素晴らしさを肌で感じることができました。今後も、この取組が続くことを願ってやみません。七中生のみなさん、今年も素晴らしい合唱を聴かせてくださり、本当にありがとうございました。

乗り物利用学習～社会見学など教室では学べないたくさんのお話を学習してきました～



「どんどん質問してくれてすごいね。」

9月27日(水) 3年生は、よつ葉乳業、広小路商店街、帯広市役所、広瀬牧場を中心に社会見学をしてきました。天気に恵まれ、まずは一安心。広瀬牧場では、ご厚意でソフトクリームの試食をさせていただきました。おかげさまで楽しい思い出になりました。たいへんありがとうございました。乗り物利用学習では、社会体験など教室では学べないたくさんのお話を学習してきました。写真は、広瀬牧場見学の様子を撮影したものです。また、愛国小学校とは、帯広第七中学校に入学する前に、乗り物利用学習・修学旅行などで交流し徐々に顔なじみになるようになっています。子どもたちは、有意義な時間を過ごすことができました。



下校について今一度考えよう～子どもたちが、安全に安心して学校生活を送るために～

地域の方々から子どもたちの下校時の様子についてお話をいただくことがあります。特に気にかけていただいているのは、次の3点です。① 歩道は車道側を歩かないこと(2～3人が歩道を横列で歩くと、車道側を歩く子ほど危険です)、② 通学路を守ること(本校では通学路を指定しています。地域の方々も通学路については熟知していただいています)、③ 寄り道をしないで、下校後は、まっすぐ帰宅すること(普段の帰宅時間よりも、あまりにも遅い場合は、学校までお知らせください)。今後、日没が早まります。薄暮時に車などとの接触事故が起きやすくなります。上記については、学校でも指導していますが、ご家庭でも十分お子さんと確認してください。お気づきの点などありましたら教頭までお知らせください。